

津高の一人一ボランティア

こんにちは
津久見高校です

津久見高校では、「一人一ボランティア活動」を推進しています。これは、年間を通じて、少なくとも1回は何か人に役立つことを行なおうというものです。

7月3日、期末考査終了後に行われた「校内トイレ清掃」には、350名以上の生徒が自主的に参加しました。日常の清掃ではなかなかきれいにしにくい、便器の奥や中に手を入れて

磨き上げるというもので、年を追うごとに参加者が増加しています。

清掃を終えて、生徒たちは異口同音に「気持ちもすっきりした」とか「来年も必ず参加する!」との声があがっていました。



このイラストは、会計システム科3年 安藤詩織さんの作品です。



津高生 One By One

武口容子：普通科2年
第一中・津久見小出身、
フェンシング部女子キャプテン

今月は、普通科2年生の武口容子さんの登場です。彼女は高校入学後、フェンシングを始め、県総体でサード2位となり、2年生ながら九州大会に出場しました。

武口さんにインタビューしました。（武口さん：T、インタビュアー：I）



I：中学校まで、全く縁がなかったフェンシングを始めたきっかけは？

T：はい。津高ボクシング部出身の父の薦めと、入学の時実施された『体験入部』で、先輩たちの雰囲気がとてもよと感じたからです。

I：初心者からのスタートで苦労したのでは？

T：はい。1年生の頃はルールすら全くわからなかったし、苦しんだこともありましたが、でも先輩や先生に多くのことを教えていただき、だんだんフェンシングの奥深さを感じられるようになって……。2年生になってからは、どうしたら相手に勝てるのかと作戦を立てて試合に臨んでいますので、すごく楽しいです。

I：作戦を立てるとは、どういうことですか？

T：試合中に、相手の動きを観察して、クセを見抜いて、どのようなフェイントを出して、自分の技を仕掛ければ勝てるのかを考えることです。

I：そうですね。ところで将来の夢を教えてください。

T：九州大会では、あまり良い結果が出せなかったのですが、まずは九州で勝つこと。次に全国大会で一つでも多く勝ちたいです。

I：2020年は？

T：東京オリンピックですか？

あまり人に言ったことはないのですが……胸の奥底には……。オリンピックは、スポーツをやっている者のあこがれの舞台ですから……

I：20年後、何をしていますか？

T：美容関係の仕事と家庭との両立をしていると思います。そのとき、フェンシングとの縁も続いていければいいなと思っています。

I：今日はありがとうございました。2020年が武口さんにとって特別な年になることを期待しています。



津久見高校からのお知らせ：本校では、地域に根ざした学校づくりを進めております。
ご意見やご要望等があればご連絡ください。

☎82-4126